

## 志野医師からのひと言：肥満と胆石

肥満は胆石の危険因子です。

昔から胆石になりやすい方の特徴を4つのFで表現してきました。すなわち①小太り(fatty)②40歳以上(over-forty)③女性(female)④多産(fertile)です。他にも糖尿病、脂質異常症、甲状腺機能低下、胃切除後などは胆石になりやすい要因です。

胆石は主な成分の違いからコレステロール石と色素石に分かれますが、多いのは前者です。胆石が形成されるには胆汁の成分の代謝異常や胆のうの機能が関係します。肝臓から分泌される胆汁の成分にはコレステロールや胆汁酸、胆汁色素などがありますが、そのバランスがおかしくなってコレステロールの結晶が形成され、やがて要因が重なって胆石が完成するとされています。この形成過程に肥満が大きくかかわるというわけです。

胆のう結石は胆のう癌と関連があるともいわれますので注意したいものです。

(栄養に関してのお問い合わせは、栄養科または外科外来にご連絡ください。)

